

子供たちと向き合う先生方へ

～子供たちに「学校は安心・安全で楽しい」と伝えるために～

学習や部活動などを軌道に乗せ効果的に行うためには、まず子供たちを理解し、教師との信頼関係や子供たち同士の人間関係を築くことが大切です。

まずは、子供たちが「学校は楽しい」「学校には信頼できる先生がいる」「学校には共に頑張る友だちがいる」と思えるようになることが大切です。子供たちとの信頼関係を築き、先生方の温かいメッセージが伝わるように、下記のポイントを今一度見直しましょう。



埼玉県マスコット 「さいたまっち」

ポイント① 笑顔で接する

先生が笑顔で接してくれると「自分は受け入れてもらっている」という安心感を与えます。気持ちを素直に話すことができ、辛いことがあっても守ってもらえるという信頼を得ることもつながります。



埼玉県マスコット 「コバトン」

ポイント② 話をよく聴く



子供たちは「話を聴いてほしい」「関わってほしい」と思っています。視線を合わせて、相づちを打ちながら話を聴くことで「自分に関心を向けてくれている」「共感してもらえている」ということが伝わります。



ポイント③ 一人一人を『認める』

「一生懸命掃除しているね」「笑顔であいさつしてくれるね」など見たまま、感じたままをそのまま伝えるだけでも、子供たちは「見てくれている」「大事にされている」と感じ自己存在感が高まり、「居場所づくり」につながります。



ポイント④ 学習や生活のルールを定着させる

授業を充実させるためには、集団の秩序が保たれていることが大前提です。発達段階や個人差を考慮した上で「活動の見通しをもたせる」「明確な指示をする」「行動の見届けをする」など指導方法を工夫し、学習や生活のルールの定着を図りましょう。



ポイント⑤ 子供たち同士の共感的な人間関係を育む

友だちや先生に言葉でうまく伝えられなかったときは、具体例をもとに教えることも有効です。また、子供同士で協力する場面を意図的に設定することや「間違えても大丈夫」というありのままを認め合える温かい風土を築くことで、子供たち同士の絆づくりにつながります。